

# ステントグラフト時代における当院での胸腹部置換術の治療成績

## 1. 研究の対象

西暦2012年4月1日～西暦2024年12月31日までに当院で胸腹部人工血管置換術を受けられた病者さま。

## 2. 研究目的・方法

胸腹部大動脈にまたがって病変が及ぶ胸腹部大動脈瘤は、腹部主要分枝が巻き込まれるために、血管内治療が難しい領域であり、現代においても開胸開腹での胸腹部人工血管置換術が第一選択です。本手術は体にかかる負担が非常に大きな手術であり、その手術成績の向上や、脊髄虚血をはじめとする合併症対策に関して古くからたくさん議論がなされてきました。近年ステントグラフト内挿術が普及してきており、ステントグラフトとの組み合わせによる治療戦略や、すでにステントグラフトが留置されている状態で胸腹部人工血管置換を要する場合の合併症のリスクなど、また新しい知見の蓄積が求められています。本研究では、ステントグラフト時代における当院での胸腹部人工血管置換術の治療成績に関して検討します。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

対象病者さまのカルテから術前の状態、併存疾患、内服内容、手術の内容、術後の合併症などについての情報を収集します。通常診療の過程で蓄積された情報を収集・解析するため、新たに負担を強いることはありません。

## 4. 外部への試料・情報の提供

外部への情報提供はありません。

## 5. 研究組織

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病者さまもしくは病者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先まで2024年12月31日までに申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：岸本 諭

研究責任者：岸本 諭